



VANQUISH 340

VANQUISH 340 取扱説明書

POWERED BY **Multi-IQ**
Simultaneous Multi-Frequency Technology



MINELAB

目次

クイックスタート.....	3	バッテリーおよび充電.....	10
探査モード.....	3	バッテリー残量.....	10
コイン.....	3	バッテリー電圧の不足時.....	10
ジュエリー.....	3	自動シャットダウン.....	10
全金属.....	3	バッテリー動作/充電時間.....	10
操作部.....	4	充電式バッテリー.....	10
ディスプレイ.....	5	探知機のお手入れと安全性.....	11
探知機の設定.....	6	エラーコード.....	12
音量.....	6	トラブルシューティング.....	12
感度.....	6	技術仕様.....	13
感度の調整.....	6	工場出荷時設定へのリセット.....	14
ノイズが出過ぎる場合.....	6		
ピンポイント探知.....	7		
ターゲットの探査.....	7		
深度ゲージ.....	7		
ターゲットID.....	8		
ターゲットID番号.....	8		
識別セグメント.....	8		
識別パターン.....	8		
全金属.....	9		
全金属の有効化.....	9		
全金属モードを使用したターゲットの検査.....	9		
ターゲットトーン.....	9		



このマークの使用は、Creative Commons Attribution NonCommercial NoDerivatives 4.0 International (CC BY NC ND 4.0)の国際ライセンスに基づいています。



本ライセンスのコピーを表示するには、以下のサイトにアクセスしてください
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

クイックスタート

1 起動する

2 5秒待つ

3 探知する

探査モード



探査モードボタンを押して次の探査モードを選択します。

VANQUISH 340には、それぞれ固有の識別パターンを有する3つの探査モードが用意されています。適切な探査モードを選択することにより、お探しのものをより多く検知できるようになります。



コイン

公園やビーチのがらくた類を無視しながら、世界中の一般的な近代硬貨を探し出します。

コインモードはターゲットの判別能力に優れているため、ゴミの多い場所での探査にお勧めです。これにより、鉄ゴミのすぐ隣に埋まっているターゲットも見逃しません。

このモードの識別パターンではすべての鉄製ターゲットが排除され、金属の薄片といった鉄以外の小さなゴミも除外されます。



ジュエリー

失くした場所がどこであっても、貴重な宝飾品を取り戻します。

ジュエリーモードはターゲットの判別能力と探知深度に優れているため、万能型のモードです。

本モードはあらゆる形状、サイズ、金属組成の宝飾品を探し出す場合に最適です。

本モードの識別パターンでは、鉄製のターゲットのみが除外されます。



全金属

鉄などの金属を含むすべてのターゲットを探知します。

全金属モードでの探知は、ターゲットを一切見逃さなくなる反面、ゴミの検出も多くなります。

本モードの識別パターンでは、鉄製のターゲットも鉄以外のターゲットも検知対象になります。金属の薄片など、一般的な鉄以外のターゲットをゴミとして分類するようにトーンが調整されています。

本モードを使用して、コインモードやジュエリーモードで探知されたターゲットに鉄が含まれているかどうかを確認することができます(9 ページ)。

操作部



1. 電源オン/オフ

探知機の電源をオン/オフにします。

オフの状態でも長押し(7秒)すると、工場出荷時設定を復元します(14 ページ)。

2. 音量調整

音量を調整します(6 ページ)。

3. 感度

感度を調整します(6 ページ)。

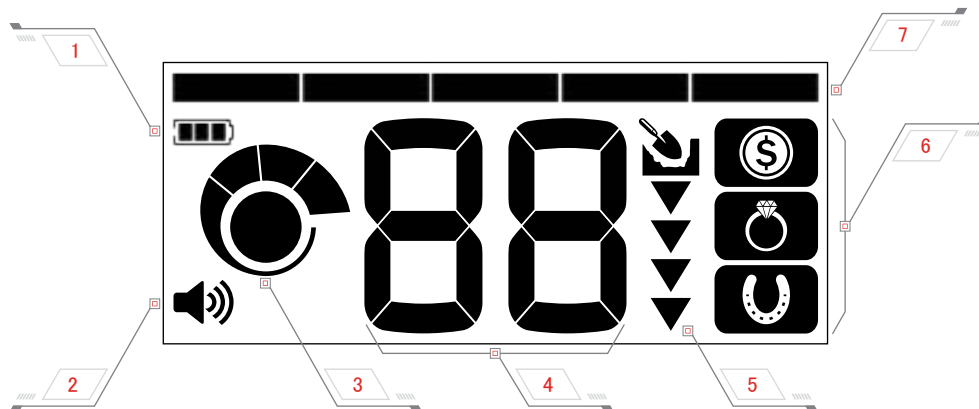
4. 探査モード

次に利用できる探査モードが選択されます(3 ページ)。

5. ターゲットIDガイド

探知できるターゲットのタイプを示す参考ガイドであり、ターゲットIDのセグメントに対応しています。

ディスプレイ



1. バッテリー残量

現在のバッテリー残量を示します(10 ページ)。

2. 音量

探知機の音量を表示します(6 ページ)。

3. 感度

感度を表示します(6 ページ)。

4. ターゲットID番号

物体を特定してから掘り出せるようにするため、探知したターゲットを数値で示します。たとえば、米国の25セント硬貨には常に同じターゲットID番号が表示されます。

負の数は鉄、正の数は純金(小さな数のID)から大きな銀(大きな数のID)に至るまでの鉄以外の物質を示します。

5. 深度ゲージ

検出されたターゲットのおおよその深さを示します(7 ページ)。

6. 探査モード

有効な探査モードを表示します(3 ページ)。

7. 識別セグメント

ターゲットID番号のグループを1つのセグメントとして目盛りで表します。

識別セグメントはターゲットIDガイドに対応しています。

探知機の設定

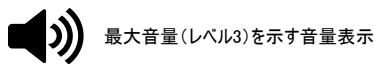
音量

音量調節により、ターゲット信号音の大きさを変更します。

音量を調節するには、音量ボタンを使用します。音量ボタンを押すたびに、音量レベルが低から高へと上がります。最大音量に達した状態で音量ボタンを押すと、最小音量に戻ります。



ディスプレイの音量表示に現在の音量が表示されます。目盛り1つで1レベルを表しています。



感度

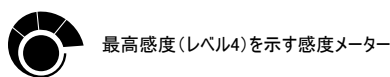
VANQUISHシリーズ探知機は極めて高感度であり、感度を調整することができます。個々の探知条件に合わせて適切な感度を設定すると、探知深度が最大化します。

最適なパフォーマンスを得るには、常に安定した最も高い感度設定を選択してください。

感度を調節するには、感度ボタンを使用します。感度ボタンを押すたびに、感度が低から高へと上がります。最高感度に達した状態で感度ボタンを押すと、最低感度に戻ります。



ディスプレイの感度メーターに現在の感度が表示されます。目盛り1つで1レベルを表しています。



感度の調整

1. コイルを動かないように保持し、感度ボタンを使用して誤信号が発生し始めるまで感度を上げます。
2. 感度ボタンを押して、誤信号が消えるように十分に感度を下げます（レベル2、3、または4が選択されている場合、3回押すと、感度が1レベル下がります）。
3. 何も無い地面の上でコイルをスワイプし、地面からのノイズ（土壌ノイズ）が少しでも発生する場合はさらに感度を下げます。

ノイズが出過ぎる場合

探知中にノイズが過剰に発生する場合があります。これは、送電線、携帯電話の中継塔、または他の金属探知機などを発生源とする環境中の電磁干渉(EMI)が原因になっている可能性があります。

ノイズが問題となる場合は、消失するまで次の手順をお試しください。

1. 電磁干渉(EMI)の発生源から離します。
2. 探知機を再起動し、自動ノイズキャンセルプロセスが完了するまで待ちます
3. 再起動しても過剰なノイズが消えない場合は、感度を下げてください。

自動ノイズキャンセル

VANQUISHシリーズ探知機では、電源を入れるたびに自動ノイズキャンセルプロセスが実行されます。これにより、過剰なノイズが出ないように探知機を修正しています。

自動ノイズキャンセルが完了するまで(ターゲットID番号の欄に表示される2本の大きな一が合図です)、地面のすぐ上でコイルを動かさずに保持するとまくなります。

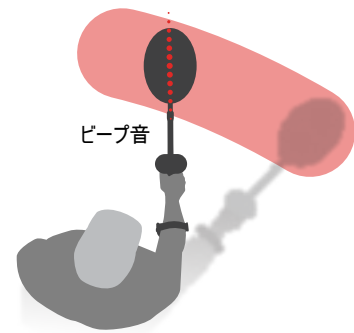
ピンポイント探知

ターゲットの探査

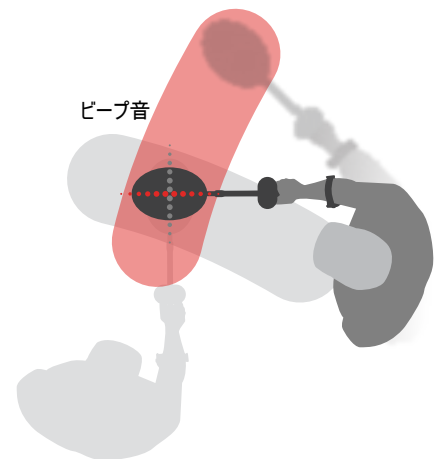
ターゲットを探知したら、掘り出す前に手動ピンポイント探知のテクニックで正確な位置を特定します。こうすると掘る作業が減り、より速やかにターゲットを回収できます。

1. ターゲットがある位置の周辺でコイルを地面と平行に保ったままゆっくりとスイープします。
2. 最も信号応答の音が大きくなるのを聞いて、ターゲットの中心位置を特定します。
3. この位置をよく覚えておき、土の上に靴や掘り道具で線を引いて印をつけます。
4. 最初の方向に対して右側からターゲットの上をコイルでなぞることができるよう片方の側に立ち位置を移動します。
5. 新しい立ち位置で手順1および3を繰り返します。ターゲットは2本の想像上の線が交わる場所に埋まっています。

1-3
最も強い信号が聞こえる所に線を引きます。



4-5
最初の立ち位置に対して立ち、手順を繰り返します。
2本の線が交差した点が、ターゲットの正確な位置を示します。



深度ゲージ

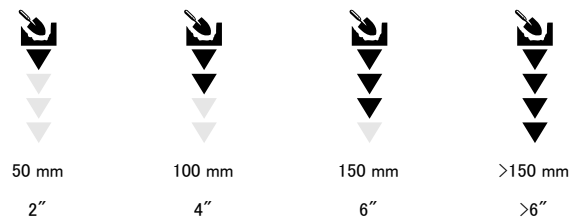
深度ゲージは、検出されたターゲットのおおよその深さを示します。

深度ゲージは目安としてのみ使用します。矢印が少ないほどターゲットが浅いことを示し、矢印が多いほどターゲットが深いことを示します。精度は、ターゲットのタイプと土壌条件によって異なります。

ターゲットが検出された後に、深度ゲージは最大5秒間、または次のターゲットが検出されるまで液晶画面に表示されます。

何も検出されない場合は、深度ゲージアイコンと矢印はオフになります。

以下は、米国25セント硬貨の場合の、深度ゲージの測定結果とおおよそのターゲット深度の例です。



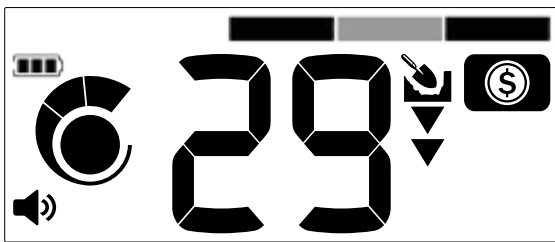
ターゲットID

ターゲットID番号

ターゲットID番号の範囲は-9～40であり、鉄製ターゲットの場合は-9～0になります。

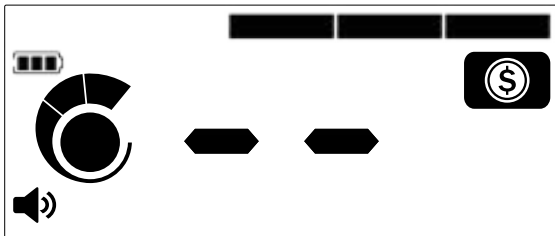
ターゲットが探知されると番号で示され、ディスプレイのターゲットID番号の欄に表示されます。これにより鉄または非鉄特性が示されるため、すばやく簡単にターゲットを識別できます。

たとえば、米国25セント硬貨のターゲットIDは29です。このため、IDが29のターゲットが探知された際には、常に米国25セント硬貨である可能性が高いということになります。



ターゲットが探知されると、ターゲットID番号が表示されます。この例は薄い米国25セント硬貨を検出した場合の表示です。検出時には対応するターゲットIDセグメント(グレーで示す部分)が点滅します。

最後に検出されたターゲットIDが、5秒間または別のターゲットが検出されるまでディスプレイに表示されます。何も検出されない場合や、排除しているターゲットを探知機が見送った場合は、ディスプレイに2本の大きなダッシュが表示されます。



何も検出されない場合、ターゲットID番号の欄に2本の大きなダッシュが表示されます。

識別セグメント

識別セグメントは、液晶画面の上部にあります。これらはターゲットIDを帯状の領域に区分けして表示します。

ターゲットID番号ごとに対応する識別セグメントがあり、そのIDを持つターゲットが検出されると該当するセグメントが点滅します。

識別パターン

識別セグメントは、ターゲットを検出するとオンに、無視するとオフになります。オンのセグメントはすべて音が鳴り(承認)、オフのセグメントはすべて音が鳴りません(排除)。

承認および排除されるセグメントの組み合わせは、識別パターンと呼ばれます。

VANQUISH 340には、コインモード、ジュエリーモード(下記)、全金属(9 ページ)という3種類の識別パターンが用意されています。



承認されるセグメントと排除されるセグメントを示したコインモードの識別パターン

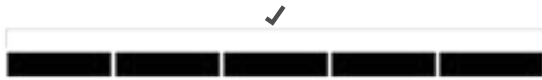


承認されるセグメントと排除されるセグメントを示したジュエリーモードの識別パターン

ターゲットID

全金属

全金属探査モードでは、すべての識別セグメントがオンであるため、鉄を含めたすべての金属製ターゲットが検出されます。



VANQUISH 340の全金属モードの識別パターン

全金属モードは、ターゲットを一切見逃さないようにする探査方法ですが、鉄を含むゴミの検出も多くなります。

全金属

1. 探査モードボタンを押して、全金属探査モードを選択します。



2. 識別セグメントがすべてオンになり、金属物がすべて検出対象になります。
3. 全金属モードを無効にするには、探査モードボタンを押してコインまたはジュエリーモードを選択します。

全金属モードを使用したターゲットの検査

全金属モードを使用すると、鉄以外の検出物を検査することで、鉄系材料の有無も確認できます。

全金属モードの際にターゲットが入り混じった反応(鉄と鉄以外の両方)を示した場合は、大きな鉄の物体か瓶の口冠である可能性が高くなります。

鉄以外の反応を繰り返し示す場合、ターゲットに鉄は含まれていません。これは、ターゲットが良い(鉄以外の)物質である可能性が高いことを示しています。

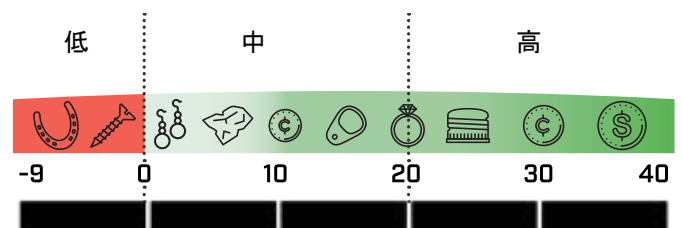
大きな鉄の物体や瓶の口冠などのターゲットは、他の探知機では一般に鉄以外の物質として表示されることにご注意ください。VANQUISH 340では、探知活動の生産性を高めるため、これらのターゲットをゴミと判別するよう設計されています。これらのターゲットを検出したい場合は、全金属探査モードを使用します。

ターゲットトーン

ここでは、複数のターゲットIDを異なるピッチのターゲットトーンに割り当てているため、オペレータがディスプレイを確認することなくターゲットIDを大まかに判別することができます。

VANQUISH 340には、低、中、高の3つのターゲットトーンが用意されています。

トーンブレイク位置とは、識別スケール上でターゲットトーンのピッチが変化する箇所のことです。正確なトーンブレイク位置は探査モードごとに若干異なることに留意してください。



VANQUISH 340 の(おおよその)トーンブレイク位置

バッテリーおよび充電

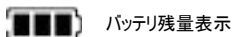
VANQUISHシリーズは、充電式および非充電式両方の単3アルカリ電池に対応しています。

⚠ 警告: 充電式および非充電式のバッテリーを組み合わせると、探知機やバッテリーが損傷する場合がありますので絶対におやめください。

⚠ 警告: バッテリーを間違ったタイプと交換すると、爆発の危険があります。

バッテリー残量

バッテリー残量表示は、現在のバッテリー残量を示します。



充電式バッテリーと非充電式バッテリーでは放電率が異なるため、バッテリー残量表示はおおよその目安にすぎないことに留意してください。

バッテリー電圧の不足時

単3アルカリ乾電池を使用した場合、バッテリー残量表示が点滅してから約20分間経過すると、自動シャットダウンが実行されます。

充電式バッテリーを使用した場合、バッテリー残量表示に表示される目盛りが1つになってから約20分間経過すると、自動シャットダウンが実行されます。

自動シャットダウン

バッテリー残量が著しく低下すると、探知機は自動的にシャットダウンを行います。自動シャットダウンの際は、その5秒前にターゲットID番号の欄に‘bF’と表示され、シャットダウンの信号音が鳴ります。

bF

ターゲットID番号の欄に表示される‘bF’

一部のメーカー/タイプの充電式バッテリーでは、探知機が自動シャットダウンの前でも‘bF’と表示しない場合がありますのでご注意ください。

バッテリー動作/充電時間

Minelab充電式単3ニッケル水素バッテリーでは、充電時間が約8時間、動作時間は約11時間です。

非充電式単3アルカリ電池では、動作時間が約10時間になります。

充電式バッテリー

Minelab充電式単3ニッケル水素バッテリー(4パック)およびMinelab単3ニッケル水素バッテリー充電器は別売りで販売されています。



Minelab 単3 ニッケル水素バッテリー充電器 Minelab充電式 単3 ニッケル水素バッテリー

Minelab 単3 ニッケル水素バッテリー充電器の使用法、コンプライアンス、安全に関する情報については、充電器の付属文書を参照してください。

⚠ 警告: 充電式ニッケル水素バッテリーの充電には、Minelabニッケル水素バッテリー充電器のみをご使用ください。

探知機のお手入れと安全性

- 日焼け止めや虫除けを塗った後は、探知機を扱う前に手を洗ってください。
- クリーニングには溶剤を使用しないでください。中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取ってください。
- 探知機にはガソリンや石油または石油ベースの液体が絶対にかからないように注意してください。
- 砂や埃がシャフトや固定具(コイルヨークアセンブリやカムロックなど)に入らないようにしてください。これらの部分に砂や埃が蓄積した場合は、湿った布できれいに拭き取ってください。
- 探知機やアクセサリを尖った物に接触させないでください。傷や損傷の原因となります。
- シャフトに擦り傷が目立つようになったら、湿った布で拭いてください。
- 探知機を必要以上に長時間にわたって過度に低温または高温になる場所に放置しないでください。使用しない時は保護のためにカバーをしてください。高温になる車内に放置することは避けてください。
- コイルケーブルを常に良好な状態に保ち、過度の力をかけないように注意してください。
- 探知機を運搬したり保管する際には十分に注意してください。探知機は高品質の材料を使用して製造され、厳格な耐久性テストを受けていますが、表示画面は適切な注意をして取り扱いしないと傷がつきやすく、重大な損傷が発生します。
- 探知機を極端な温度条件に置かないようにしてください。保管温度範囲は、 $-20^{\circ}\text{C}\sim+70^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F}\sim+122^{\circ}\text{F}$)です。
- 防水の記載のないアクセサリを液体/水分または過度の湿気にさらさないでください。
- 探知機やアクセサリは子供の手が届かない場所に保管してください。小さな部品を喉に詰まらせる危険があります。
- 充電式バッテリーおよびアクセサリを充電する際は、必ず付属の取扱説明書に従ってください。
- 極端な温度条件下で充電式バッテリーやアクセサリを充電することは避けてください。
- 空輸の際は、あらかじめバッテリーを取り外してください。

エラーコード

探知機に以下の故障がある場合は、ターゲットID番号の欄にエラーコードが表示されます。正規サービスセンターにご連絡いただく前に、推奨される以下の改善策をお試しください。

コイル接続不良



コイル接続不良のエラーが発生した場合は、ターゲットID番号の欄に「Cd」と表示されます。

コイル接続不良のエラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1. コイルコネクタがコントロールユニット背面に適切に接続されているかをチェックします。
2. コイルケーブルの損傷がないかをチェックします。
3. コイルコネクタピンに汚れや破片が付いていないことを確認します。
4. コイルに目に見える損傷の兆候がないかをチェックします。
5. 別のコイルが使用できれば、それを試してみます。
6. 探知機の電源をオフにして工場リセットを実行してから、電源ボタンを7秒長押しします(14 ページの「工場出荷時設定へのリセット」を参照)。
7. それでもエラーが持続する場合は、最寄りの正規サービスセンターに探知機の修理をご依頼ください。

システムエラー

システムエラーのコード「E」にエラーコード番号が付加され、「E2」などと表示されます。探知機は、システムエラーが表示された5秒後にシャットダウンします。



ターゲットID番号の欄に表示されたエラーコード「E2」の例

システムエラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1. エラーがまだ残っているかどうかを確認するために探知機を再起動します。
2. コイルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. 探知機の電源をオフにして工場リセットを実行してから、電源ボタンを7秒長押しします(14 ページの「工場出荷時設定へのリセット」を参照)。
4. それでもエラーが持続する場合は、最寄りの正規サービスセンターに探知機の修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

探知機の電源が入らない、または勝手に切れる(「bF」は表示されることもされないこともある)

1. バッテリーを交換します。

異常なノイズが出る、またはノイズが出過ぎる

1. 電磁干渉(EMI)の発生源から離します。
2. 探知機を再起動し、自動ノイズキャンセルが完了するまで待ちます。
3. 感度を下げます(6 ページ)。

音がしない - 有線ヘッドホン

1. 探知機の電源が入っているか、起動が完了しているかを確認します。
2. ヘッドホンの端子が接続されているかを確認します。
3. 音量が聴こえるレベルに設定されていることを確認します。
4. ヘッドホンの接続を外し、探知機のスピーカーから音が聞こえることを確認します。
5. 可能であれば、別のヘッドホンセットを使用して試してください。

技術仕様

	VANQUISH340	VANQUISH440	VANQUISH540
探査モード	コイン、ジュエリー、全金属	コイン、レリック、ジュエリー、カスタム	
全金属のショートカット	なし	あり	
カスタムユーザー探査プロファイル	なし	あり	
動作周波数(kHz)	Multi-IQ		
ノイズキャンセル	自動(19チャンネル)		
オーディオ	なし	あり	
鉄バイアス	高	高(デフォルト)、低	
感度	4 レベル	10 レベル	
音量	3 レベル	10 レベル	
ターゲットトーン	3種類のトーン(低、中、高)		5種類のトーン
識別セグメント	5 セグメント	12 セグメント	25 セグメント
識別刻み	なし	あり	
ピンポイント探知モード	なし	あり	
ターゲットID	-9~40		
深度表示	4 レベル	5 レベル	
長さ	伸長時: 1450 mm (57") 短縮時: 760 mm (30")		
重量(バッテリー込み)	1.2 kg (2.6 lbs)	1.3 kg (2.8 lbs)	
ディスプレイ	モノクロ液晶画面	赤色バックライト付きモノクロ液晶画面	
搭載コイル	V10 10" x 7"ダブルD	V12 12" x 9"ダブルD	
オーディオ出力	内蔵スピーカー 3.5 mm (1/8")有線ヘッドホン	内蔵スピーカー 3.5 mm (1/8")有線ヘッドホン Bluetooth無線オーディオ	
搭載ヘッドホン	—	3.5 mm (1/8")有線ヘッドホン	
搭載バッテリー	4 × 単3アルカリ電池		4 × 単3 ニッケル水素充電式
その他の付属アクセサリ	スタートガイド	スタートガイド レインカバー アームレストストラップ V10スキッドプレート	スタートガイド レインカバー アームレストストラップ V12スキッドプレート
防水	コイルから最大1 m/3フィート		
耐水	制御ボックス(レインカバー装着)		
動作温度範囲	-10° C~+40° C (+14° F~+104° F)		
保管温度範囲	-20° C~+70° C (4° F~+158° F)		
主要テクノロジー	Multi-IQ		Multi-IQ、Bluetooth、aptX™ Low Latency (低遅延)



VANQUISH 540 Pro Pack は標準のVANQUISH 540をベースとした製品であり、異なる点はBluetoothワイヤレスヘッドホンとV8 8" x 5"ダブルDコイルおよびV8スキッドプレートが採用されていることです。3.5 mm (1/8") 有線ヘッドホンは含まれていません。

本製品と合わせてお客様が注文したモデルまたは品目によっては、装置の構成が異なる場合があります。Minelabは、継続的な技術革新に対応するため、設計、装置および技術的特徴をいつでも予告なく変更する権利を留保します。VANQUISH探知機製品の最新の仕様については、www.minelab.comをご覧ください。

工場出荷時設定へのリセット

工場リセット機能を使用すると、探知機のあらゆる設定が工場プリセット状態に戻ります。

1. 探知機の電源がオフになっていることを確認します。
2. 電源ボタンを長押しします(約7秒)。



電源ボタン

3. 工場プリセット設定が復元されたことを示す 'FP' がターゲットID表示欄に表示されます。



工場プリセット設定が復元されると、'FP' がターゲットID表示欄に表示されます。

4. 電源ボタンを放します。工場リセットが完了すると、自動ノイズキャンセリングが開始されます。

免責

この取扱説明書で説明するMinelabの金属探知機は、高品質な金属探知機として設計・製造されており、危険のない環境で宝探しや金探しに使用することが推奨されています。本金属探知機は、鉱山用の探知機や無効化されていない弾薬の探知ツールとしては設計されていません。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、Minelabによるこれらのマークの使用はライセンスに基づいています。

Qualcomm aptXは、Qualcomm Technologies, Inc. および/またはその子会社の製品です。Qualcommは、米国およびその他の国々におけるQualcomm Incorporatedの登録商標です。aptXは、米国およびその他の国々におけるQualcomm Technologies International, Ltd.の登録商標です。



Minelab Electronics,
PO Box 35, Salisbury South,
South Australia 5106



Qualcomm® aptX™ Low Latency

カナダを対象とした適合性宣言

本製品はISED (Innovation, Science and Economic Development Canada)の技術仕様に適合しています。

INFORMATION RÉGLEMENTAIRE

Avis de conformité canadien Le présent produit est conforme aux spécifications techniques retenues par l'Innovation, Sciences et Développement économique Canada (ISDE).

Minelab Electronics Pty. Ltd.
オーストラリアおよびアジア太平洋地域
☎ +61 8 8238 0888
✉ minelab@minelab.com.au

Minelab Americas Inc.
北米、南米、および中米
☎ +1 877 767 6522
✉ info@minelabamericas.com

Minelab International Ltd.
欧州およびロシア
☎ +353 21 423 2352
✉ minelab@minelab.ie

Minelab MEA General Trading LLC
中東およびアフリカ
☎ +971 4 254 9995
✉ minelab@minelab.ae

Minelab do Brasil
ブラジル
☎ +55 47 3406 3898
✉ minelabdobrasil@minelab.com

minelab.com/vanquish